



うれしの新次代の学校づくりを目指して

嬉野っ子ワクワクデザインII 令和6年

嬉野市教育委員会

学校教育において「主体的に学び・考え・行動する力」を育み、うれしの新次代を創る『心豊かでたくましい嬉野っ子』を育成します

～温故(不易)と創新(流行)による具体的なプラン～

プラン① 学びをつなげる 事業

- 1) 幼児教育と義務教育のなめらかな接続・連携
 - ・早期支援コーディネーターによる園の訪問や年中児から相談を行い、保護者、幼稚園・保育園、小・中学校、関係機関との連携を強化し、充実した学びの場の実現を図る。
- 2) 学習指導要領に沿った学習内容の充実
 - ・小学校で英語、理科専科教員を配置し、指導方法の研究と実践を行う。
 - ・小学校理科実験アシスタントを活用し理科教育の充実を図る。
 - ・小中学校で「嬉野メソッド」の学習過程をもとに主体的・対話的で深い学びの実践を進める。
 - ・「学びの習慣づくり」リーフレットにより、自主学習や読書などの市内小中学校共通した取組を推進する。
 - ・オンライン英会話を小中学校全学年に拡大し実施する。
 - ・小学校情報教育計画を作成し、情報活用能力の育成を図る。



「学びの習慣づくり」リーフレット

プラン② 学びを変える 事業

- 1) 個別最適な学び、協働的な学びの実践
 - ・AIドリル、授業支援ソフト、学習支援ソフトの活用、オンラインでの交流授業、集会などタブレット端末を活かした取組を推進する。
 - ・生活科や総合的な学習の時間での「嬉野学」をはじめ、巡回公演事業や地域との交流などの心を豊かにする体験活動を推進する。
- 2) 未来に向けた課題への実践
 - ・「生きる力の教科書」第4版の改訂及びその活用を推進する。
 - ・学校におけるSDGsの取組を推進する。
 - ・新型コロナウイルス、インフルエンザ等の感染症対策に努める。



プラン③ 誰ひとり取り残さない 事業

- 1) すべての子どもたちの居場所づくり
 - ・不登校対応コーディネーター及び早期支援コーディネーターを活用し児童生徒に寄り添った取組強化を図る。
 - ・教育支援センター、校内教育委支援センター(別室)を設置し、指導員を配置することに加え、うれしのSSW、教育相談員、特別支援教育支援員らが学校や関係機関と連携しながら網の目での支援を行う。
- 2) 特別支援教育の充実
 - ・児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、個に応じた支援の充実を図る。
 - ・インクルーシブ教育、合理的配慮等の研修を通して、教師の指導・支援力などの資質の向上を図る。



プラン④ 地域と共にはぐくむ 事業

- 1) コミュニティスクールと地域コミュニティとの連携強化
 - ・地域と学校が協働し、当事者として学校運営に参画する地域とともにある学校づくりを推進する。
 - ・目的にそって行事を精選し、同時に地域の人材バンクを充実させる。
- 2) 情報発信と広報の充実
 - ・学校紹介パンフレット等の作成やHP等を活用し、学校だよりやコミュニティ便りの情報発信を行う。
- 3) 部活動 土日の地域移行へ向けた取組(Ureshino 部活 構想)
 - ・部活動検討委員会を開催し土日部活の地域移行を進める。
- 4) 家庭・地域との連携
 - ・「早寝・早起き・朝ごはん」に取り組み、1日の生活リズムの確立を図る。
 - ・児童向けの認知症サポーター養成講座、心のバリアフリー講座を実施する。



プラン⑤ 校長先生の知恵袋事業

- 1) 校長のマネジメント力による学校の教育的課題の解決(創新)
 - ・児童生徒の体験活動を充実させ、唯一無二の魅力ある学校づくりを推進する。
 - ・校長の学校経営ビジョンに基づく実施計画のプレゼンテーションを審査し、校長の独自性・主体性を生かした学力向上対策などの取組を推進する。



プラン⑥ ろく・さんプラン教育推進事業

- 1) 小中連携教育の確立を目指す『ろく・さんプラン教育』の実践(創新)
 - ・各中学校区において令和の新時代を見据えたスリーステップを実践する。
 - ・塩田中学校区において、嬉野市教育委員会指定の小中連携学力向上事業に取り組み、授業公開などを通して学力向上に向けた実践を発表し、指導方法などを共有する。
- 2) 「学びをつなげる事業」の推進
 - ・中学3年生の交流授業により、高1ギャップ解消を図る



嬉野中校区小中連携研修会